

## 平成19年度特別講演会演題

講師名	所属	講演名	講演日	担当部	備考
大濱 宏文	日本健康食品規格協会理事長	欧米における健康食品の安全性施策と法制度	平成19年7月3日	生薬部	
Kenneth S. Korach, Ph. D.	Program Director, Environ Disease Med Program Chief, Lab Reprod Develop Tox, NIEHS/NIH	Using Knock-Out Mice to Understand Toxicological Mechanisms 遺伝子ノックアウトマウスによる毒性メカニズム解析 -エストロジェン受容体及びその周辺の解析-	平成19年8月21日	毒性部	
Zahidul Islam 博士	ミシガン州立大学食品化学・栄養学教室 助教授	食品・環境中に存在するカビ毒の毒性	平成19年9月4日	衛生微生物部	
久原 とみ子	金沢医科大学・総合医学研究所人類遺伝学研究部門 部門長・教授	診断と個別化医療のための非侵襲的ヒトメタボローム解析	平成19年9月5日	機能生化学部	
片岡 一則	東京大学大学院工学系研究科マテリアル工学専攻 教授	ナノマテリアルによるドラッグデリバリー ナノマテリアルの自己組織化によって形成される超分子ナノデバイスを制ガン剤の標的デリバリーや遺伝子治療へと展開するアプローチの紹介	平成19年9月12日	薬品部	
杉山 弘	京都大学大学院理学研究科化学専攻 生物化学 教授	DNAを分子標的とした薬剤の設計	平成19年9月26日	変異遺伝部	
鈴木 亮	帝京大学薬学部生物薬剤学教室 助教	リボソーム技術を基盤とした薬物・遺伝子デリバリーシステムの構築	平成19年9月28日	薬品部	
橋高 敦史	帝京大学薬学部薬化学教室 教授	ビタミンD受容体を介する生物活性の多様性 -新規セコステロイド骨格による強力なアゴニスト作用、アンタゴニスト作用、およびコアクチベータ選択性の検討-	平成19年11月13日	有機化学部	
宮田 直樹	名古屋市立大学大学院薬学研究科創薬生命化学専攻 薬化学分野 教授	エピジェネティックに遺伝子発現を制御する医薬品候補化合物の創製	平成19年12月12日	有機化学部	
眞崎 知生	京都大学・筑波大学名誉教授、東京女子医科大学 IREIIMS 研究マネージャー・リーダー	エンドセリンと内皮障害	平成19年12月19日	生物薬品部	
鬼武 一夫	日本生活協同組合連合会品質保証本部安全政策推進室長	食品の安全性に関する日本生協連の取り組みと行政への期待	平成20年1月10日	食品添加物部	
徳永 裕司	環境衛生化学部 部長	インド西ベンガル州、バングラデシュでのヒ素フィールドワークを中心にして	平成20年2月20日	総務部	
江馬 眞	総合評価研究室 室長	化学物質の生殖発生毒性	〃	〃	
米谷 民雄	食品部 部長	食品部11年・食品添加物部13年で対応した大きな出来事とその社会的背景	平成20年3月19日	総務部	
林 眞	変異遺伝部 部長	小核試験と歩んだ30年	〃	〃	